

ゆめぐみ
「色・形」
～赤・青・○・□～

発達領域：考えることの発達

〈赤と青〉

普段よく遊んでいる積み木とチェーンのぼっとな落としから、それぞれ赤と青だけを用意してみました。

始めはいつもと変わらず、積み木を高く積んだり赤と青のチェーンを混ぜてぼっとな落としをして遊んでいました。これだけでも十分”赤・青”に触れることができましたが、保育者が介入してチェーンのぼっとな落としをする時に、赤のチェーンと青のチェーンを分けて入れると子どもたちも真似して同じように色分けをする姿が見られるようになりました。特に赤は目にとまりやすいのか手に取る様子が多く見られました。

また、保育者が「これは赤だね～」や「これは青だよ！」と声掛けをすることで”これは赤っていうのか～”と言葉も吸収しています。遊びの中で自然と色の認識にも繋がっていきます。



〈丸いもの〉

みんなが好きなボールプールやボールのポットン落としから、”丸”にたくさん触れました！

ボールプールではポ～ン！とボールを投げるなど手に取ることで形を知り、そこから「このボールは丸だね～」と伝えることによって”丸”の認識ができていきます。また、カラフルなボールや大きさが違うボールなど、形だけではなく色や大きさなどにも触れることができました。

ボールのポットン落としでは、ボールが落ちていく様子やコロコロ～と転がっていく様子を目で追いかけて丸いものは転がっていくことを伝えながら触れました。

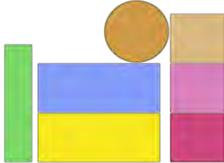




＜積み木で…＞

積み木遊びを通して四角にもたくさん触れて遊びました！
 保育者が「四角だよ！」と伝えたり、積み木を積んで見本を見せたり、たくさん触れて遊ぶことで、積むことも覚えていきます。また、始めは保育者が積んだものを崩して楽しんでいた子どもたちも、少しずつ2個以上の積み木を積み上げられるようになってきました！

「つかむ・離す」の2つの動作を基本として、繰り返し遊ぶことで、手先の器用さが身についたり、バランスを考えたり、力加減を調整したりすることを通して、自然と集中力も高められていきます。



丸・四角・三角の型はめにも挑戦する姿が見られました。形が違っていると”どれかな？”と考えながら合わせて、形がぴったりはまると達成感があり、嬉しそうな表情を見せてくれた子どもたちでした。
 大きさが違う円形のはめ込みパズルでも型の大きさを見ながら保育者と一緒に遊び、赤・青・黄色・緑の4色に触れて遊びました。



＜いろいろな色＞

絵本コーナーに「カラフル」と「くれよんぐるぐる」の絵本を用意すると早速手に取る子どもたち！
 カラフルでは「きゅー」のフレーズで体を”ぎゅう～”としたり「ころりん」のフレーズでは体を揺らしたりといろいろな色を見ながら体をたくさん動かして楽しんでいました♪

くれよんぐるぐるでは”あか”と”きいろ”のページが人気で子どもたちからも「あか！」と言うような声も聞こえました。また、「どんな色が好き」を一緒に歌い、絵本や歌を通してたくさんの色に触れました。

